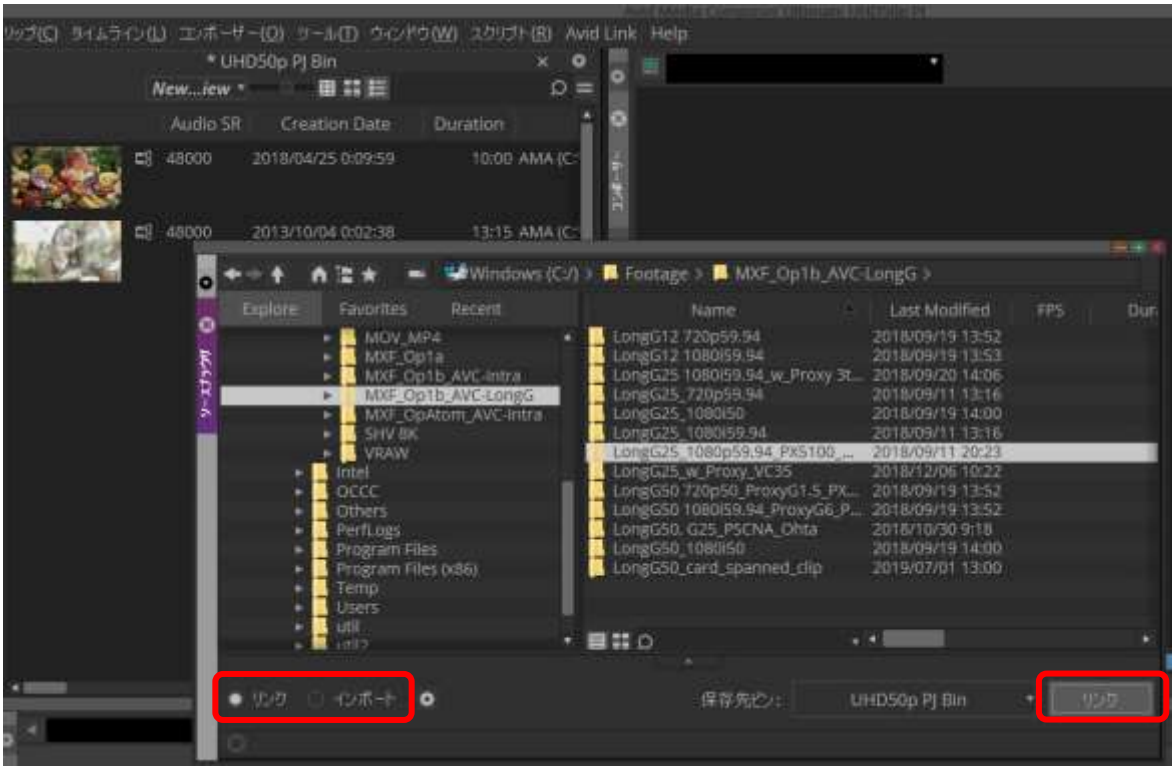
P2 Plug-In Ex Guide for Media Composer 2019 Rev 1.0

本書は Media Composer 2019 の GUI 修正部分に関する P2 PlugIn Ex の操作ガイドです。
修正部分以外について、操作説明書 AJ-PS001G-004G(VQT5G96-4)_J を参照下さい。

1. P2 クリップの取り込み方法

1.1. 「ファイル」>「入力」>「ソースブラウザ」 を選択し、ソースブラウザを開きます。

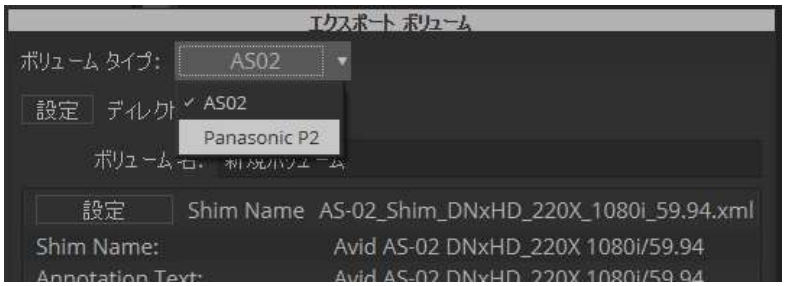
1.2. ソースブラウザにて、CONTENTS フォルダの上位フォルダを選択し、リンク又はインポートを押すと CONTENTS フォルダ内のクリップが指定された保存先ビンに表示されます。



2. P2 クリップの書き出し方法

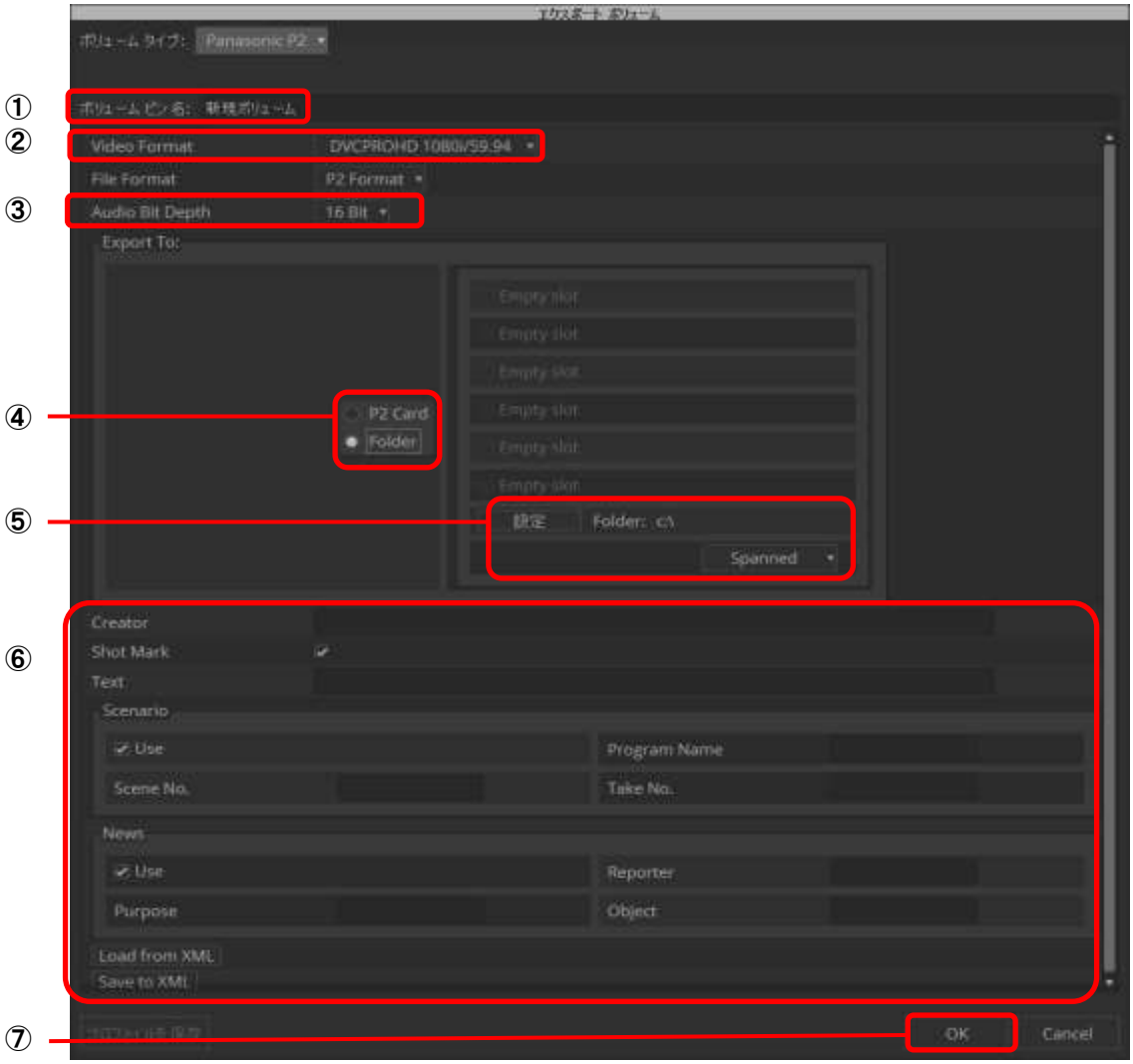
2.1. 「ファイル」>「新規」>「エクスポートするボリューム」 を選択します。

2.2. エクスポートボリュームのボリュームタイプを PanasonicP2 にします。



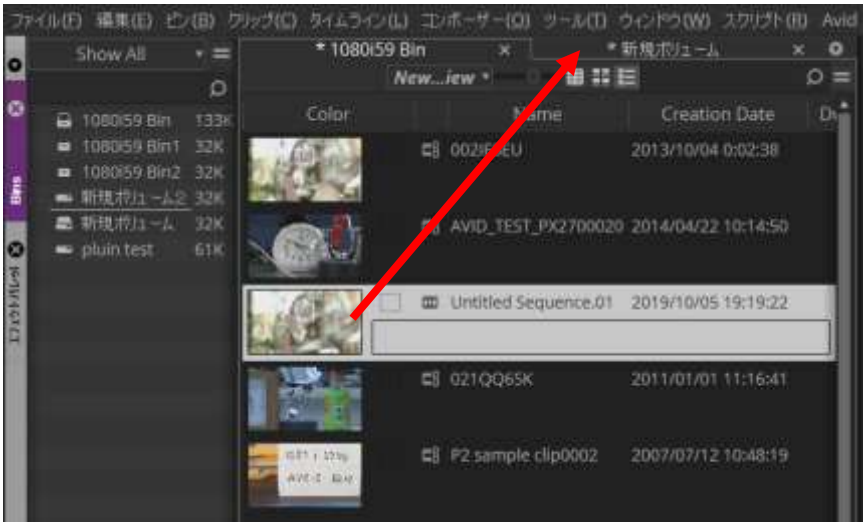
2.3. エクスポートボリュームダイアログにて各種設定を行います。

① ボリュームビン名を指定します。（既に使っているビン名は指定できません）
② 映像の圧縮フォーマットを選択します。
③ Audio Bit Depth を選択します。
④ P2 カードかそれ以外の記録メディアの Folder かを選択します。
⑤ Folder の場合は設定ボタンを押し、Folder を指定します。
クリップを4GB 単位で分割したい場合は Spanned を、分割不要なら Non-Spanned を選択します。
⑥ 個々のメタデータを設定できます。
Load from XML ボタンは、P2 Clip の XML や、予め保存した XML メタデータを指定し取り込めます。
Save XML ボタンは、設定したメタデータを XML 形式で保存します。
⑦ すべての設定を行った後、OK ボタンを押します。

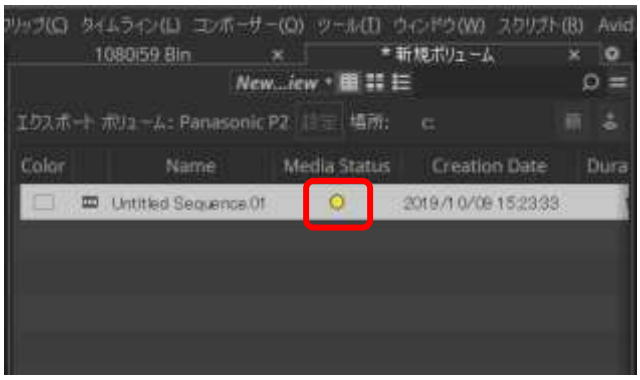


2.4. Bin に新たなタブが追加されれば、設定完了です。

2.5. 編集したシーケンスファイルをエクスポートボリュームへドラッグ＆ドロップします。

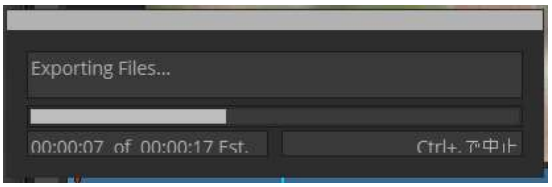


ドロップされた Sequence は、Media Status が黄色マークで登録されます。

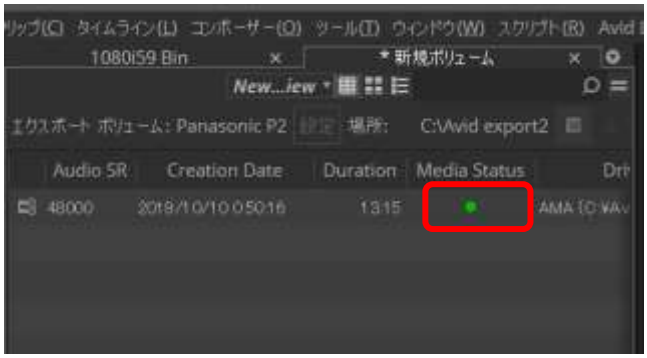


2.6. Commit ボタンを押すと、書き出しが始まります。書き出し中は他の操作はできません。複数の Sequence の書き出しを順次行う場合は、各 Sequence を、リストに追加した後、Commit ボタンを押します。

2.7. 書き出しが始まりますと、進捗バーが表示されます。ダイアログが閉じるまでお待ちください。

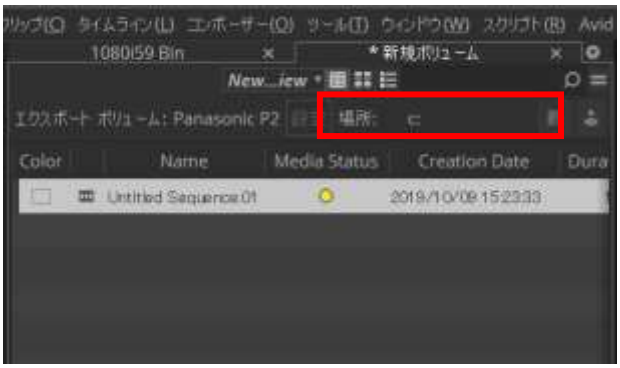


2.8. 書き出しが終了しますと Sequence は書き出し Volume から消え、書き出されたクリップが読み込まれ、表示されます。このとき Media Status は緑に変わります。



＜ノート＞

1. フレームレート等は MC のプロジェクト作成に準じており、指定可能なもののみが選択可能です。
2. 書き出し中にメディアを抜いた場合は正常に書き出しされません。完了までお待ちください。
3. 対応プロジェクトのラスターサイズは以下になります。
   4K-DCI:4096x2160, UHD:3840x2160, 2K:2048x1080, 1080:1920x1080,　720P:1280x720
4. プロジェクトで設定したビデオフォーマットと異なるクリップを使用する場合は、書き出しの前に、「クリップ」>「コンソリデート／トランスコード」 にてトランスコードし、フォーマットを一致させてください。
5. Windows のマウント方法の関係で、MC 起動後の P2 カードの挿入順番により、選択した P2 カードと実ロケーションが異なる場合があります。書き出し時は「場所」を確認してください



■履歴

Oct. 15, 2019	Rev1.0	初版